

文部科学省 多様なニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン  
超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成



# 北信がんプロ

## 平成30年度 **教育プログラム・ コース履修者募集要項**



金沢大学



信州大学



富山大学



福井大学



金沢医科大学



石川県立看護大学

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科

信州大学大学院総合医理工学研究科医学系研究科

富山大学大学院医学薬学教育部

福井大学大学院医学系研究科

金沢医科大学大学院医学研究科

石川県立看護大学大学院看護学研究科



# 目 次

・ 教育プログラム・コース履修者募集について .....	2
・ 超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成について .....	4
・ 教育プログラム・コースの概要	
○ 本科コース	
【金沢大学】	
先端的個別化医療コース .....	5
がん個別化薬物療法薬剤師リーダーコース .....	7
個別化高度化を担う医療技術・医学物理人材育成コース .....	9
【信州大学】	
ゲノム医療に精通したがん治療医育成コース .....	10
がん診療に詳しい認定遺伝カウンセラー養成コース .....	11
【富山大学】	
高齢がん患者対策専門コース .....	12
高齢化した地域医療を個別化医療で支えることができる高度薬剤師養成コース .....	14
【福井大学】	
地域がん専門医養成コース .....	17
【金沢医科大学】	
がんプロフェッショナルがん専門医リーダー養成コース .....	20
【石川県立看護大学】	
がんライフステージコース .....	22
○ インテンシブコース	
【金沢大学】	
がんゲノム医療生涯教育コース .....	6
がん個別化薬物療法実践薬剤師コース .....	8
【富山大学】	
高齢がん患者対策専門コース .....	13
高齢化した地域医療を個別化医療で支えることができる専門的薬剤師養成コース .....	15
在宅がん緩和リハビリテーションコース .....	16
【福井大学】	
在宅栄養管理コース .....	18
在宅緩和医療コース .....	19
【金沢医科大学】	
がん集学的治療医養成コース .....	21
【石川県立看護大学】	
がんライフケアコース .....	23
・ 履修申請書 .....	25

## 文部科学省 平成29年度大学教育再生戦略推進費

### 多様なニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン 超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成 教育プログラム・コース履修者の募集

超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）は、北陸三県と長野県の北信地域での、県の枠を超えた戦略的がん医療人育成システム構築を目指しています。6大学の強みを生かした最先端がんゲノム医療、小児・AYA世代・希少がんの集学的治療、ライフステージに応じたケアをe-learning教材によって、大学の枠を超えて学習できる、共通科目や単位互換を導入した相互補完的教育コースとして、本科10コース・インテンシブ9コースを開設します。

本コースは、北信オンコロジーセミナーや、ライフステージ事例検討会を定期開催し、地域がん医療の多職種ネットワークの連携・充実の具体的事例とその必要性について学んでいきます。

#### 1 教育プログラム・コース

##### (1) 本科コース

###### ① 先端的個別化医療コース

募集大学：【金沢大学】

###### ② がん個別化薬物療法薬剤師リーダーコース

募集大学：【金沢大学】

###### ③ 個別化高度化を担う医療技術・医学物理人材育成コース

募集大学：【金沢大学】

###### ④ ゲノム医療に精通したがん治療医育成コース

募集大学：【信州大学】

###### ⑤ がん診療に詳しい認定遺伝カウンセラー養成コース

募集大学：【信州大学】

###### ⑥ 高齢がん患者対策専門コース

募集大学：【富山大学】

###### ⑦ 高齢化した地域医療を個別化医療で支えることができる高度薬剤師養成コース

募集大学：【富山大学】

###### ⑧ 地域がん専門医養成コース

募集大学：【福井大学】

###### ⑨ がんプロフェッショナルがん専門医リーダー養成コース

募集大学：【金沢医科大学】

###### ⑩ がんライフステージコース

募集大学：【石川県立看護大学】

## (2) インテンシブコース

### ① がんゲノム医療生涯教育コース

募集大学【金沢大学】

### ② がん個別化薬物療法実践薬剤師コース

募集大学：【金沢大学】

### ③ 高齢がん患者対策専門コース

募集大学：【富山大学】

### ④ 高齢化した地域医療を個別化医療で支えることができる専門的薬剤師養成コース

募集大学：【富山大学】

### ⑤ 在宅がん緩和リハビリテーションコース

募集大学：【富山大学】

### ⑥ 在宅栄養管理コース

募集大学：【福井大学】

### ⑦ 在宅緩和医療コース

募集大学：【福井大学】

### ⑧ がん集学的治療医養成コース

募集大学：【金沢医科大学】

### ⑨ がんライフケアコース

募集大学：【石川県立看護大学】

## 2 対象者

本要項に掲載の教育コースの概要でご確認ください。

## 3 履修受入人数

履修受入人数には制限を設けていません。

## 4 受講料

無料

## 5 受入時期

本科コース：平成30年4月又は10月 インテンシブコース：随時

## 6 申請書類

本要項に掲載の教育コースの概要でご確認ください。

## 7 修了時期

本要項に掲載の教育コースの概要でご確認ください。



# 北信がんプロの実施事業

## 大学院生・医療従事者向け

### ①全国 E クラウドによる e-learning 講義

インターネット環境があればどこでも学修できる e-learning 教材で最先端がんゲノム医療、小児・AYA 世代・希少がんの集学的治療、ライフステージに応じたケアを、大学、地域の枠を超えて学修できるようにします。

### ②TV 会議システムによる遠隔演習

連携大学、がん診療連携拠点病院などで受講可能とした、TV 会議システムを介して北信オンコロジーセミナー等を定期開催し、遠隔教育により他施設・職種連携を推進します。

### ③北信がんデータベースの構築

特色ある症例を集めた「北信地域データベース」を構築し、受講生や教員が「学会・論文発表に活用するとともに、地域のがん対策に運用していきます。

## 教職員、受講生向け

### ④FD海外研修などのスタッフ研修

海外研修を実施し、最先端ゲノム医療や緩和ケア、グリーフケアなどを学んだ参加教員が、講習会を開いて最新の治療や緩和ケア等の情報共有を図ります。

## 大学間

### ⑤大学間

他エリアのがんプロ拠点や、人材育成プログラムと積極的に連携し、国際シンポジウム、合同シンポジウムを開催します。

## 市民向け

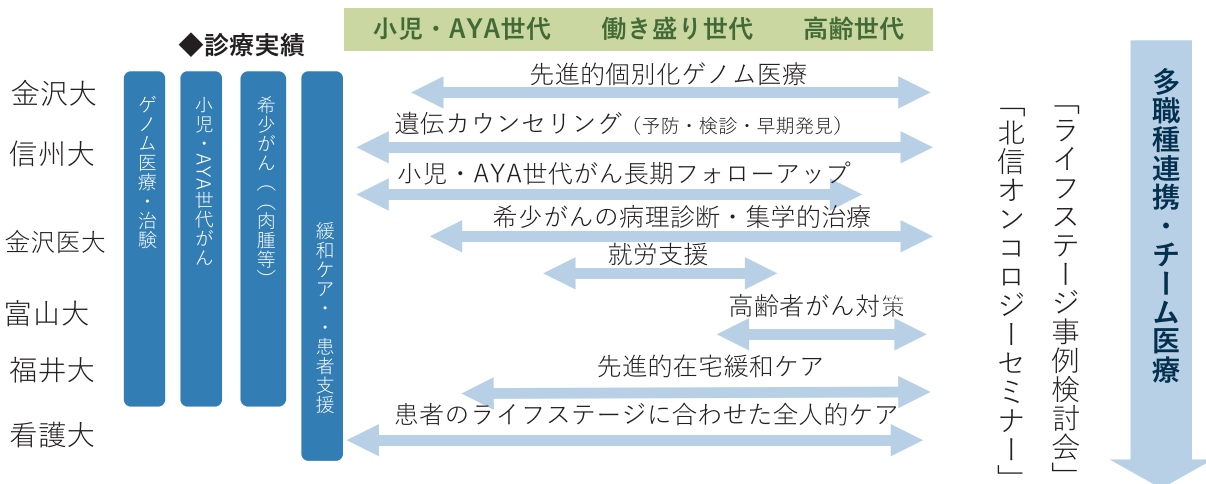
### ⑥市民啓発・がん教育

患者会や北信4県の自治体、医師会、がん拠点病院と連携し、公開講座やシンポジウムを開催して、がんに関する正しい理解の啓蒙と情報発信に努めます。

◆各大学の強みを生かした**相互補完的教育コース**  
(本科10コース、インテンシブ9コース)

多施設・多職種連携の演習

TV会議システム、  
遠隔教育システム活用



特徴ある症例の地域がんデータベース構築

「将来の日本を映し出すデータベース」

大学院生による学会・英語論文発表

モチベーションを高め事業の求心力を保つ

社会に対する成果の発信・還元

⇒がん教育・予防・検診受診・早期発見・  
早期治療・早期社会復帰へ

超少子高齢化地域で活躍する  
先進的がん医療人



予防からケア、啓発まで

「将来の日本の  
がん医療人育成モデル」

# 教育プログラム・コース概要





## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科医学専攻						
教育プログラム・コース名	先端的個別化医療コース						
対象者	医薬保健学総合研究科医学専攻大学院学生						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	ゲノム解析等により分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬の最適化使用を目指す先端的研究を理解し、遺伝子解析に基づく最適の集学的個別化医療（手術、放射線、薬物治療等）を実践できる医師及び歯科医師を養成する。						
修了要件・履修方法	<p>&lt;修了要件&gt;北信がんプロフェッショナル授業科目のうち、選択必修科目5単位を含む10単位以上を取得し、研究論文が学位審査に合格すること。</p> <p>&lt;履修方法&gt;e-learning教材、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。</p>						
履修科目等	<p>&lt;選択必修科目&gt;分子生物学入門（1単位）、分子腫瘍学特論、ほか3科目</p> <p>&lt;選択科目&gt;がんゲノム学特論（1単位）、小児・AYA世代・希少がん特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、老年医療学特論（1単位）、がんライフステージ演習（1単位）、腫瘍薬物学特論（1単位）、臨床腫瘍学演習（1単位）ほか10科目</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	従来の個別化医療は主に遺伝子解析に基づく薬物療法であったが、本コースでは、今後のわが国で必要とされる遺伝子解析に基づいた最適の集学的治療（手術、放射線、薬物治療の逐次・同時併用を含む）を行うために必要な一連の過程（遺伝子解析検査説明と同意取得、検体採取と提出、遺伝子解析結果の解釈と患者への説明、治療法選択と治療の実施、効果判定と副作用対策、再発時の対応など）を全て北信がんプロ科目において学習し、実践できる能力を養う点に独創性がある。演習で、金沢大学附属病院において実施されている医師主導治験や先進医療等の実際を学ぶ（先端医療開発センターや国立がんセンターと連携）。選択演習として、ゲノム解析等により分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬の最適化使用を目指す先端的基础を実際に行う（がん進展制御研究所との連携）プランを設定するところにも特色がある。						
指導体制	本コースでは、金沢大学がん進展制御研究所や金沢大学の遺伝子解析、個別化医療研究のエキスパートやがんプロ卒業生が、実際に進行しているプロジェクトを通じたon-the-jobトレーニングを行う。また、e-learningやTV会議セミナー等も活用して幅広く能率的に指導する。指導方法の標準化について教務委員会で検討する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コースで養成された人材は、がんゲノム医療における世界水準の知識・技能・研究力を有し、将来、医学教育機関等のスタッフやがん診療連携拠点病院等の地域基幹病院におけるがんゲノム診療のリーダーとして貢献するとともに、高額な薬剤の有効利用により医療費コストの軽減に貢献する。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	大学院学生	/	5	5	5	5	20
	計	0	5	5	5	5	20

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科医学専攻						
教育プログラム・コース名	がんゲノム医療生涯教育コース（インテンシブ）						
対象者	地域でがん診療に携わる医師及び歯科医師						
修業年限（期間）	1年（延長可）						
養成すべき人材像	遺伝子解析に基づいた分子標的治療や免疫チェックポイント阻害薬による治療の概要を理解し、多職種と連携して実地医療における個別化医療を実践できる医師及び歯科医師を養成する。						
修了要件・履修方法	<p>&lt;修了要件&gt;北信がんプロフェッショナル授業科目3単位以上の修得及び北信がんプロオンコロジーセミナーへの出席又はがんライフステージ事例検討会への参加。</p> <p>&lt;履修方法&gt;全国規模のe-learnin教材及び本事業の講義教材を利用して自己学習を行うのみならず、テレビ会議システムを利用した北信がんプロオンコロジーセミナー又はがんライフステージ事例検討会への参加による学修を行う。</p>						
履修科目等	<選択科目>がんゲノム学特論（1単位）、小児・AYA世代・希少がん特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、老年医療学特論（1単位）、北信オンコロジーセミナー（1単位）、がんライフステージ演習（1単位）						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	従来のがん治療の均てん化を目的とした講義内容にとどまらず、本事業においては、今後のわが国で必要とされるであろう遺伝子解析に基づいた最適の集学的治療（手術、放射線、薬物治療の逐次・同時併用を含む）を行うために必要な一連の過程（遺伝子解析検査説明と同意取得、検体採取と提出、遺伝子解析結果の解釈と患者への説明、治療法選択と治療の実施、効果判定と副作用対策、再発時の対応など）を全て教育し、将来の日本のがんゲノム医療に対応できる能力を養成する点に特色がある。						
指導体制	大学及び連携機関に所属するがんゲノム医療のエキスパートであるスタッフが、遺伝子解析に基づいた最適の集学的治療を行うために必要な一連の過程をe-learning又はシンポジウムで講義する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コースで養成された医師及び歯科医師は、多職種と連携できるがんゲノム診療のリーダーとして、がん診療連携拠点病院等の地域基幹病院におけるがんゲノム医療に貢献する。						
受入開始時期	平成29年10月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	地域医療機関の医師及び歯科医師	2	6	6	6	6	26
	計	2	6	6	6	6	26

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科薬学専攻						
教育プログラム・コース名	がん個別化薬物療法薬剤師リーダーコース						
対象者	医薬保健学総合研究科薬学専攻大学院学生						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	がん・緩和薬物療法の安全性・有効性を向上させ、がん患者の多様性に応じた個別化薬物療法の処方支援、有害事象回避ができる人材。 がん・緩和薬物療法に関する最新知識を有するとともに、がん患者の心理を良く理解し、チーム医療の中で他の医療従事者を支援できる人材。 以上の様な業務を先駆けて実践し、広めていくことができるリーダー。						
修了要件・履修方法	<p>&lt;修了要件&gt;北信がんプロフェッショナル授業科目6単位〔選択必修の基礎科目2単位、実習、演習科目1単位を含む〕を修得すること。</p> <p>&lt;履修方法&gt;e-learning教材、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。実習演習科目は、金沢大学医薬保健研究域薬学系又は附属病院を中心に富山大学を含めた他大学及び医療施設と共同で実施する。スクーリング、TV会議によるセミナー、演習等の中から選択して履修する。</p>						
履修科目等	<p>&lt;選択必修科目（基礎科目）&gt;分子腫瘍学特論、臨床統計学特論、臨床栄養学特論（各1単位）</p> <p>&lt;選択必修科目（実習、演習科目）&gt;先進的がん薬物療法個別化実習（0.5単位）、がんリスクマネジメント実習（0.5単位）、有害事象解析演習（0.5単位）、がんライフステージ演習（0.5単位）</p> <p>&lt;選択科目&gt;&gt;腫瘍薬物学特論（1単位）、がん緩和医療学特論（1単位）、がんゲノム学特論（1単位）、小児・AYA世代・希少がん特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、老年医療学特論（1単位）ほか4科目</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	全国的にも非常に少ない6年制学士課程の本コース入学者が、将来の薬剤師の教育者、研究者・指導者となること目標とし、がん個別化薬物療法に特化した専門能力を向上させるための4年制博士課程教育の充実をはかる点に独創性がある。患者の多様性に応じた個別化薬物療法の実践に必要な薬剤師のスキル（薬物療法の最適化・個別化、有害事象回避、抗がん剤・医療用麻薬の混合調製など）を地域・職種の壁を越えて教育し、多職種連携のリーダーとなる薬剤師を養成するところに新規性がある。						
指導体制	がん・緩和薬物療法に関連する専門資格を有する金沢大学の薬学系教員・薬剤師が、臨床現場等でon-the-jobトレーニングにより指導する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コース修了者は、本プログラムを基盤として、日本医療薬学会が認定するがん専門・指導薬剤師や日本緩和医療薬学会が認定する緩和薬物療法認定薬剤師の資格取得が可能となる。更に、がん薬物療法の個別化及び安全性向上を実践し、ん薬物療法及び地域包括ケアを推進する多職種連携のリーダーとなる薬剤師のキャリア形成につながる。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	大学院学生	/	1	2	2	2	7
	計	0	1	2	2	2	7

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科薬学専攻						
教育プログラム・コース名	がん個別化薬物療法実践薬剤師コース（インテンシブ）						
対象者	薬剤師免許を有し、がん専門薬剤師又は緩和薬物療法認定薬剤師の資格を取得しようとする者。						
修業年限（期間）	3月から1年（延長可）						
養成すべき人材像	がん・緩和薬物療法の安全性・有効性を向上させ、がん患者の多様性に応じた個別化薬物療法の処方支援、有害事象回避ができる人材。 がん・緩和薬物療法に関する最新知識を有するとともに、がん患者の心理を良く理解し、チーム医療の中で他の医療従事者を支援できる人材。 がん・緩和領域における地域包括ケアを推進する人材。 次世代のリーダーになることを目指す人材。						
修了要件・履修方法	北信がんプロフェッショナル授業科目3単位以上の修得及び北信がんプロオンコロジーセミナーへの出席又はがんライフステージ事例検討会への参加。 全国e-learningクラウド等のe-learning教材及び本事業が開催するがんゲノムシンポジウムにおける講義教材を利用して自己学習を行うのみならず、テレビ会議システムを利用した北信がんプロオンコロジーセミナー、がんライフステージ事例検討会への参加による学習を行う。実習演習については富山大学との共同開催として、他大学での開講科目も履修可能とする。						
履修科目等	＜選択科目＞がんゲノム学特論（1単位）、小児・AYA世代・希少がん特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、老年医療学特論（1単位）、北信オンコロジーセミナー（1単位）、先進的がん薬物療法個別化実習（0.5単位）、有害事象解析演習（0.5単位）、がんライフステージ演習（0.5単位）等						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	本プログラムの特色は、がん患者に対する地域包括ケアにおいて、薬剤師が患者の多様性に応じた個別化薬物療法の実践に要求されるスキル（薬物療法の最適化・個別化、有害事象回避、抗がん剤・医療用麻薬の混合調製など）を地域・施設間の壁を越えて、受講者の能力・ニーズに応じた教育を受けられることにある。そのために、先進的がん薬物療法個別化実習では、受講者がそれぞれの能力・ニーズに合致する実習ユニット（個別化薬物療法、在宅緩和医療、病院がん薬物療法、先進的注射薬管理、フィジカルアセスメントなど）が選択できる。また、有害事象解析演習については、TV会議システムを用いて、北信がんプロ参加大学間で協働して実施する。このユニットは、教育プログラムを発展させ、大学間多職種参加型研究プロジェクトとして、がん薬物療法の有害事象対策を多職種連携により確立することを目指すことによって、エビデンスを発信するスキルも学べる点に新規性・独創性がある						
指導体制	本コースでは、がん・緩和薬物療法に関連する専門資格を有する薬学系教員・薬剤師が、臨床現場において、on-the-jobトレーニングにより指導する。また、e-learningを活用した受講者の能動的学習を促し、実習により知識を定着化させる。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コース修了者には、本プログラムを基盤として、日本医療薬学会が認定するがん専門・指導薬剤師や日本緩和医療薬学会が認定する緩和薬物療法認定薬剤師の資格を取得する。さらには、地域において、がん・緩和薬物療法の個別化および安全性を向上させ、地域包括ケアの牽引者となる。そして、それらの経験を生かし、薬剤師や薬学生に対する講義、実習を行うことで、次世代の医療者の育成者となる						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	大学院学生	/	1	2	2	2	7
	計	0	1	2	2	2	7



## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢大大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻						
教育プログラム・コース名	個別化高度化を担う医療技術・医学物理人材育成コース						
対象者	医薬保健総合研究科（博士後期課程）保健学専攻大学院学生						
修業年限（期間）	3年						
養成すべき人材像	がん治療において基礎的及び臨床的がん診療を理解し、より高度化した放射線治療において放射線技術および医学物理学による個別化医療を目指す臨床研究を実践できる診療放射線技師・医学物理士を養成する。						
修了要件・履修方法	<p>&lt;修了要件&gt;機能画像解析学特別研究もしくは量子診療技術学特別研究（6単位）、放射線治療物理臨床技術学特講（2単位）、臨地専門マネジメント演習（2単位）を必修とすること、及びその他、北信がんプロフェッショナル授業科目2単位以上を履修することとし、合計12単位以上の修得が必要。また、個別化医療の基礎・臨床研究を行い、研究論文が学位審査に合格すること。</p> <p>&lt;履修方法&gt;e-learning教材、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。</p>						
履修科目等	<p>&lt;選択必修科目&gt;放射線治療物理臨床技術学特講（2単位）、臨地専門マネジメント演習（2単位）、機能画像解析学特別研究もしくは量子診療技術学特別研究（6単位）</p> <p>&lt;選択科目&gt;腫瘍薬物学特論（1単位）、腫瘍放射線医学特論（1単位）、がん緩和医療学特論（1単位）、コンサルテーション論（2単位）、分子生物学入門（1単位）、医療統計学特論（2単位）、がんゲノム学特論（1単位）、小児・AYA世代・希少がん特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、老年医療学特論（1単位）、北信オンコロジーセミナー（1単位）、がんライフステージ演習（1単位）</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	2期までのがんプロで放射線治療技術の底上げを目指した教育により、放射線治療技術の均てん化は進んできた。その為、2期がんプロのがん専門放射線技術・医療物理コースを改修し、放射線治療技術の更なる高度化や個別化医療に資する人材を育成することを目指す。本コースはその点に新規性がある。また、より高精度な放射線治療技術及び個別化放射線治療の包括的な知識を習得させ、自身で個別化要因を洗い出し、研究を計画・実施・評価できる能力を養う点に独創性がある。金沢大学附属病院におけるon-the-jobトレーニング演習と北陸オンコロジーセミナー等への参加により、より実践的な技術及びがん治療の全体像を学習する点に特色がある。						
指導体制	本コースでは、金沢大学医薬保健総合研究科保健学専攻と金沢大学附属病院の教員やがんプロ卒業生により直接on-the-jobトレーニングを行う。e-learningやTV会議等も活用して幅広く能率的に指導する。指導方法の標準化について、連携協議会で検討する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コースで養成された人材は、世界水準の研究力を有し、将来、医学教育機関等のスタッフやがん診療連携拠点病院等の地域基幹病院における研究及び放射線治療の品質管理のリーダーとして貢献する。得られた知識や研究からの副作用の少ない放射線治療を医師と共同で実践し医療費コストの軽減に貢献する。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	大学院学生	/	2	2	2	2	8
	計	0	2	2	2	2	8

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	信州大学大学院総合医理工学研究科						
教育プログラム・コース名	ゲノム医療に精通したがん治療医育成コース						
対象者	総合医理工学研究科医学系専攻及び生命医工学専攻大学院学生						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	1) 遺伝性・家族性のがんを含めた幅広いがん治療に精通する医師、2) 個別化医療やゲノム医療の実際を経験し、その重要性を理解し、その推進に関わることができる医師 3) 個別化医療やゲノム医療へのリサーチマインドを有する医師						
修了要件・履修方法	<p>&lt;修了要件&gt; 医学系専攻または生命医工学専攻の修了要件計32単位を修得し、研究論文が学位審査に合格すること。</p> <p>&lt;履修方法&gt; 各専攻の対象専門科目を履修し、コース必修のe-learning科目の履修、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。</p>						
履修科目等	<p>医学系専攻</p> <p>&lt;研究科共通科目&gt; 先鋭領域融合研究群最先端研究特講（2単位）</p> <p>&lt;専攻共通科目&gt; 生命倫理・研究倫理特論（2単位）、医学統計・疫学特論（2単位）、生涯保健学研究法特論（2単位）</p> <p>&lt;分野共通科目&gt; 医科学研究遂行特論（2単位）ほか6科目</p> <p>&lt;専門科目&gt; 論文演習（2単位）、特別研究（10単位）、ほかがん・ゲノム関係科目</p> <p>生命医工学専攻</p> <p>&lt;研究科共通科目&gt; 先鋭領域融合研究群最先端研究特講（2単位）</p> <p>&lt;専攻共通科目&gt; 社会医工学特論（2単位）、イノベーションセミナー（2単位）</p> <p>&lt;分野共通科目&gt; 特別演習Ⅰ（2単位）、特別演習Ⅱ（2単位）</p> <p>&lt;専門科目&gt; 特別演習Ⅲ（4単位）、生命倫理・研究倫理特論（2単位）、医科学研究遂行特論（2単位）、ほかがん・ゲノム関係科目</p> <p>両専攻共通</p> <p>&lt;コース必修科目&gt; がんゲノム医療（1単位）、小児・AYA・希少がん（1単位）、ライフステージに応じたがん医療（1単位）〔全国共通e-learning科目〕</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	当研究科では 1) 先のがんプロ事業で新規講座を開設し、その担当診療科で、AYA世代から高齢者に渡り、多がん種のがん診療を行う体制を整備した。2) 小児の血液がんおよび悪性腫瘍の診療・研究・指導体制が充実している。3) 附属病院遺伝診療研究センターで、遺伝性・家族性腫瘍患者のデータベースおよび診療が整備されている。4) 附属病院ではゲノム医療推進の試みとしてクリニカルシーケンス開設の準備中である。5) このコースでは、幅広いがん診療・治療を経験させながら、個々のがんゲノム医療の重要性とリサーチマインドを持つ医療人を育成する。						
指導体制	当研究科は従来より大学院生に対して主および副担任制度を設けている。本コースに配属する大学院生に関しては必ずコーディネイターおよび事業推進委員のどちらかの担任となり指導体制をとる。事業推進委員の各教室が連携して幅広い領域の臨床研鑽を可能とし、研究指導を行う。なお、本学医学系研究科（博士課程）は、平成30年度に総合工学系研究科とともに「総合理医工学研究科」を設置すべく準備中であり、新たな研究科の中で人材養成を行う。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	当施設は先のがんプロにおいて大学院修了者を県内の地域がん拠点病院に輩出（2名）及び学内で指導者（2名）として雇用している実績がある。また当附属病院は都道府県がん拠点病院としての責務もあり、院外からも多くの若手がん治療医の短期研修（総勢3名）の受け入れをし、がん薬物療法専門医等の受験資格までの指導を行ってきた。この事業でも修了者は、県内7か所の地域がん診療連携拠点病院との人材ネットワークの中核として県内全体のがん研究・診療の向上に寄与させる。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	医師	/	2	2	2	2	8
	計	0	2	2	2	2	8

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	信州大学大学院医学系研究科医科学専攻						
教育プログラム・コース名	がん診療に詳しい認定遺伝カウンセラー養成コース						
対象者	医学系研究科（修士課程）医科学専攻大学院生						
修業年限（期間）	2年						
養成すべき人材像	認定遺伝カウンセラー資格を取得できる能力を身につけた医療人。 家族性・遺伝性がん診療における遺伝カウンセリングの重要性を理解でき、臨床の現場で実践できる医療人。 がん診療におけるクリニカルシーケンスの意義を理解し、臨床の現場で実践できる医療人。 遺伝性がんに関するリサーチマインドを有する医療人。						
修了要件・履修方法	<p>&lt;修了要件&gt; 遺伝カウンセリングコースの科目（修士課程必修科目26単位、修士課程選択必修科目4単位、計30単位及びコース必修科目23単位）に選択科目として臨床腫瘍学、がんサロン実習等を加え、がん診療に詳しい認定遺伝カウンセラーとなるに相応しい能力があることを試験により確認する。</p> <p>&lt;履修方法&gt; e-learning教材、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。</p>						
履修科目等	<p>&lt;必修科目&gt; 医科学研究概論（1単位）、生命倫理・医学概論（3単位）、健康科学概論（1単位）、人間機能・形態学概論（1単位）、ほか8科目</p> <p>&lt;選択必修科目&gt; 医科学研究方法論演習Ⅰ～Ⅵ（各2単位）</p> <p>&lt;コース必修科目&gt; 基礎人類遺伝学（4単位）、遺伝医学（1単位）、染色体検査実習（1単位）、遺伝カウンセリングロールプレイ（2単位）、ほか6科目</p> <p>&lt;コース選択科目&gt; ライフサイエンス知的財産概論（2単位）、医学科臨床腫瘍学（2単位）、臨床腫瘍学研究特論（2単位）、がんサロン実習（6単位）、ほか4科目</p> <p>全国共通のe-learning科目〔がんゲノム医療（1単位）、小児・AYA・希少がん（1単位）、ライフステージに応じたがん医療（1単位）〕</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	信州大学では平成15年本邦で初めて遺伝カウンセリングコースを設定し、毎年1～3名の学生を受け入れ、今までに15名の認定遺伝カウンセラーを全国（長野県以外では、長崎県、岡山県、福岡県、福島県2名、兵庫県、奈良県、新潟県、大分県）に輩出してきた。このコースでは、従来存在するコースの履修内容に追加して、がんに関する講義と実習の場を選択的に設定することで、がん診療に詳しい認定遺伝カウンセラーを養成する。北陸5大学との連携により、広報に努め、北陸地方からの応募者を積極的に受け入れる。						
指導体制	従来の修士課程遺伝カウンセリングコースでは、遺伝医学・予防医学教室及び附属病院遺伝子医療研究センターの教員が、担任として、ほぼマンツーマンの体制で指導し、認定遺伝カウンセラーを養成してきたが、今回開設する「がん診療に詳しい認定遺伝カウンセラー養成コース」では、遺伝医学・予防医学教室、附属病院遺伝子医療研究センターに加えて包括的がん治療学教室及び小児医学教室の教員が副担任となり、学生の指導にあたる。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コース修了者は、臨床の現場特に当院で始めるクリニカルシーケンスの現場に携わる医療人をを目指す。また、関連施設で、遺伝子性のがん診療の現場で遺伝カウンセリングに対応し、遺伝性腫瘍の疫学、臨床研究に参加・関与・推進する。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	カウンセラー	0	1	1	1	1	4
	計	0	1	1	1	1	4



## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	富山大学大学院医学薬学教育部生命・臨床医学専攻・東西統合医学専攻						
教育プログラム・コース名	高齢がん患者対策専門コース						
対象者	医学薬学教育部大学院学生、医学科研究医養成コース履修者（学部学生）						
修業年限（期間）	4年（学部2年）						
養成すべき人材像	がん患者の多数を占める高齢がん者の診療を行う上で必要となる老年医学を学び、脆弱な高齢者にあった診療を実現する専門医を養成する。本人の健康状態だけではなく、介護状況などの社会背景、家族への配慮も必要となるため、幅広い全人的医療を行う専門医を養成する。						
修了要件・履修方法	<p>&lt;修了要件&gt;必修科目26単位以上、選択科目8単位以上合計34単位以上を履修し、高齢者がんに関する基礎又は臨床研究を行い、研究論文が学位審査に合格すること。</p> <p>&lt;履修方法&gt;e-learning教材、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。</p> <p>&lt;単位認定&gt;e-learning各科目の単位認定は、e-learning科目の合格とオンコロジーセミナーの出席により所定の単位を認定する。</p>						
履修科目等	<p>&lt;必修科目&gt;臨床薬物学特論（1単位）、腫瘍放射線医学特論（1単位）、がん緩和医療学特論（1単位）、臨床腫瘍学特論（1単位）、医学特論（4単位）、医学演習（4単位）、医学特別研究（14単位）</p> <p>&lt;選択科目&gt;分子腫瘍学特論（1単位）、腫瘍病理学特論（1単位）、がん外科学特論（1単位）、分子生物学入門（1単位）、臨床統計学特論（1単位）、がんゲノム学特論（1単位）、小児・AYA世代・希少がん特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、老年医療学特論（1単位）、がんライフステージ演習（1単位）、北信オンコロジーセミナー（1単位）</p> <p>注：他大学の授業科目履修は10単位まで認められる。</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	超高齢社会の我が国においてがん患者の年齢も高齢化している。がんは高齢者に多い疾患であるが、臨床試験が難しく、エビデンスが蓄積されにくい。こうした高齢がん者に焦点を絞った研究、人材育成は今まで意外なほど調査研究が進んでいない。高齢がん者のライフステージに合わせた教育、人材育成に独創性がある。						
指導体制	富山県を含む北信地域は国内でも高齢化率が高い地域で、本プログラムを行う地盤は充実している。富山大学では大学病院でありながら地方の特性を生かし、地域密着型の診療を行っている。在宅療養を目指した地域連携を強化しており、高齢がん患者の看取りまでを踏まえた指導を実現する。富山大学では学部生に対し、研究医養成コースを設けており、このコース学生を本プログラムの対象とすることにより、専門医教育の底辺拡張を目指す。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	e-learningを含む座学による知識習得のほかに、実際の症例を検討する北信オンコロジーセミナーや高齢がん患者の診療を通して専門医としてのスキルを習得する。さらに、北信地域の高齢がんの実態を調査するデータベース研究を展開し、リサーチの実践にも取り組む。コース修了者は地域において最も重要な高齢がん患者診療のプロとして機能するほか、研究を発展させて他地域、次世代への貢献も期待される。						
受入開始時期	平成30年4月または10月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	大学院学生	/	2	2	2	2	8
	学部学生	/	2	2	2	2	8
	計	0	4	4	4	4	16

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	富山大学大学院医学薬学教育部						
教育プログラム・コース名	高齢がん患者対策専門コース(インテンシブ)						
対象者	各種医療機関で実際にごん診療に携わる医師						
修業年限(期間)	1年(延長可)						
養成すべき人材像	がん患者の多数を占める高齢担癌者の診療を行う上で必要となる老年医学を学び、脆弱な高齢者にあった診療を実現する専門医。本人の健康状態だけではなく、介護状況などの社会背景、家族への配慮も必要となるため、幅広い全人的医療を行う専門医。スピリチュアルペインに対応し、患者の人生観、死生観にも向き合える医師。						
修了要件・履修方法	<p>&lt;修了要件&gt;指定する北信がんプロフェッショナル授業科目の選択科目の中から、3単位以上の修得及び北信がんプロオンコロジーセミナーへの出席又は多職種連携セミナーへの参加。</p> <p>&lt;履修方法&gt;全国規模のe-learning教材及び本事業が開催するがんゲノムシンポジウムにおける講義教材を利用して自己学習を行うのみならず、テレビ会議システムを利用した北信がんプロオンコロジーセミナー又は多職種連携セミナーへの参加による学習を行う。</p> <p>&lt;単位認定&gt;e-learning各科目の単位認定は、e-learning科目の合格とオンコロジーセミナーの出席により所定の単位を認定する。</p>						
履修科目等	<p>&lt;選択科目&gt;がんゲノム学特論(1単位)、小児・AYA世代・希少がん特論(1単位)、在宅緩和ケア特論(1単位)、老年医療学特論(1単位)、がんライフステージ演習(がんライフステージ事例検討会に5回出席で1単位)</p> <p>上記選択科目の他に下記科目も開講しています。</p> <p>腫瘍薬物学特論(1単位)、腫瘍放射線医学特論(1単位)、がん緩和医療学特論(1単位)、腫瘍病理学特論(1単位)、臨床腫瘍学特論(1単位)、がん外科学特論(1単位)、分子腫瘍学特論(1単位)、分子生物学入門(1単位)、臨床統計学特論(1単位)</p>						
教育内容の特色等(新規性・独創性等)	超高齢社会の我が国においてがん患者の年齢も高齢化している。がんは高齢者に多い疾患であるが、臨床試験が難しく、エビデンスが蓄積されにくい。こうした高齢担癌者に焦点を絞った研究、人材育成は今まで意外なほど調査研究が進んでいない。高齢担癌者のライフステージに合わせた教育、人材育成に独創性がある。						
指導体制	富山大及び連携機関に所属する高齢者の代表的がんである肺癌の医療を専門とするエキスパートであるスタッフが、老年がん患者診療を行うために必要な一連の過程をe-learning又はシンポジウムで講義する(e-learningやシンポジウム参加、TV会議システムで受講)。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コースで養成された医師は、多職種と連携できる高齢者がん診療のリーダーとして、がん診療連携拠点病院等の地域基幹病院における地域医療に貢献する。						
受入開始時期	平成30年4月以降随時						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	地域医療機関の医師	2	2	2	2	2	10
	計	2	2	2	2	2	10

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	富山大学大学院医学薬学教育部薬学専攻						
教育プログラム・コース名	高齢化した地域医療を個別化医療で支えることができる高度薬剤師養成コース						
対象者	医学薬学教育部薬学専攻大学院学生						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	<p>がん化学療法のほぼ全てがレジメンに基づき行われ、多くが外来通院で実施されるようになってきている。レジメンの作成や管理、外来化学療法室での医薬品管理や患者への化学療法の説明に加え、緩和医療チームへの参画など薬剤師のがん治療に対する貢献度が特段に増してきている。これらのことについては、日本病院薬剤師会等によって、数多くの講習や実習を含む事業がなされており、基礎的な事柄は6年制薬学部での教育内容に含まれてきている。そこで、我々は、現在の薬剤師を越える高度薬剤師の輩出を目指す。病院における、がん治療や緩和医療の個別化医療に加え、地域包括ケア制度に策定に伴う在宅での抗がん剤や緩和医療への貢献ができる人材の養成をしたい。特に富山県は、三世代同居率が高く、制度の整備とともに、病院薬剤師とかかりつけ薬剤師が連携を持って、治療にあたる体制が構築されつつあることから、大学院生レベルで、医療現場で演習を行うことは意義の高いことである。加えて、国立大学薬学部として、10年後の医療を担う人材の育成も想定し、次世代のゲノム医療にも深い理解を持つ人材を養成したい。</p>						
修了要件・履修方法	<p>&lt;修了要件&gt;所属専攻の修了要件単位数（30単位）に加え、北信がんプロフェッショナル授業科目6単位（必修科目5単位、選択単位1単位以上）を修得し、合計36単位の修得及び、研究論文が学位論文審査に合格すること。</p> <p>&lt;履修用法&gt;授業はe-learning及び対面で行う。在宅医療に関する実習については地域病院と共同して実施する。演習・実習科目は金沢大学薬学系が開講する科目の履修を認め、単位互換を可能とする。</p> <p>&lt;単位認定&gt;e-learning各科目の単位認定は、e-learning科目の合格とオンコロジーセミナーの出席により所定の単位を認定する。</p>						
履修科目等	<p>&lt;必修科目&gt;分子腫瘍学特論、臨床統計学特論、臨床栄養学特論（各1単位）、がん治療におけるゲノム医療演習（1単位）、地域包括医療でのがん治療演習（0.5単位）、ライフステージ事例検討演習（0.5単位）</p> <p>&lt;選択科目&gt;腫瘍薬物学特論、がん緩和医療学特論、腫瘍放射線医学特論、腫瘍病理学特論、臨床腫瘍学特論、分子生物学入門（各1単位）、臨床疫学、最先端医療、AYA世代診療、腫瘍学（各2単位）、がんゲノム学特論、在宅緩和ケア特論、老年医療学特論（各1単位）</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<p>国立大学での6年制薬学教育を受け、薬剤師免許を有する博士課程薬学専攻の学生を対象とすることから、15年後の日本のがん治療を薬学的観点から担える人材の育成を意識している。現在の病院・薬局薬剤師が、すでに行っていることだけでなく、大学でしか実施できない高度な内容を含む。本プログラムから開始されるがん治療におけるゲノム医療の講義については、講義に加え、実習や遺伝子多型の検出、それらへの抗がん薬との治療効果などについて、深く学ぶシステムをとる。在宅でのがん治療に参画できるだけの薬剤師としての養成だけでなく、地域で他の職種との連携の要となれるよう本学独自の在宅研修ラボを使用して演習をし、加えて、医療現場での実習も行う予定である。演習、実習科目は、金沢大学附属病院での実施分も富山大学の大学院生も履修可能として単位認定できるようにし、富山大学での実施分も両大学の大学院生が履修できるようにし、大学間連携を持ち、地域で薬剤師としての医療を支えることを体験する。</p>						
指導体制	<p>富山大学大学院医学薬学教育部薬学専攻の統括は、医学薬学研究部・薬物治療学研究室 新田淳美教授が担当する。さらに、地域医療における薬剤師職に関する実習のために、同医療薬学研究室 藤 秀人教授が実習の計画に参画する。また、がん治療へのゲノム医療に関する講義や演習については、同がん細胞生物学 櫻井宏明教授が担当する。</p>						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	<p>全国の医学部附属病院へ薬剤師として勤務し、日本医療薬学会認定のがん薬物療法認定薬剤師を目指し、将来的には、がん専門認定薬剤師やがん専門指導薬剤師の取得をする。6年制薬学部卒業後、4年制の薬学専攻の大学院への入学生は全国でも100名前後であり、特に国公立大学卒業生には、将来の大学病院薬剤部長としての期待がなされている。または、厚生労働省等の中央官庁に勤務し、がん治療を含む行政職につき、日本の薬学関連の医療をリードする。</p>						
受入開始時期	平成30年4月または10月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	大学院学生	/	1	1	1	1	4
	計	0	1	1	1	1	4

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	富山大学医学薬学教育部薬学専攻						
教育プログラム・コース名	高齢化した地域医療を個別化医療で支えることができる専門的薬剤師養成コース（インテンシブ）						
対象者	北陸3県及び長野県の病院及び薬局薬剤師、特に、がん専門薬剤師の資格を取得しようとする者。日本医療薬学会認定のがん薬物療法認定薬剤師。						
修業年限（期間）	3カ月から1年（延長可）						
養成すべき人材像	がん治療や緩和医療に加えて、地域包括ケア制度の策定と、高齢化に伴い、在宅での抗がん剤の使用や緩和医療への関与も求められるようになった。特に北陸や長野県は、三世帯同居率が高く、制度の整備とともに、病院薬剤師とかかりつけ薬剤師が連携を持って、治療にあたる体制が構築されつつある。一方で、在宅医療に薬剤師が参画して、間もないことから、理論や技術の習得が困難なのが現状であり、経験則で医療が行われていることも否めない。そこで、薬学系大学院が地域を牽引して、要請度の高い在宅医療でのがん治療に対する薬剤師の役割、最近の抗体医薬品やゲノム医療の講義や演習を実施し、がん治療に関して、最先端医療から地域での在宅医療を担える先導的な人材の育成をする。少子高齢化が日本で最も進んでいる地域であることから、地域全体でも、がん医療を薬学的にリードする人材を育成し、チーム医療を介して、がん患者を全人的に支えることができる薬剤師を輩出する。						
修了要件・履修方法	<p>&lt;修了要件&gt;北信がんプロフェッショナル授業科目6単位以上（必修科目4単位、選択科目2単位以上）の修得。</p> <p>&lt;履修方法&gt;授業はe-learning及び対面で行う。本プログラムから開始する高齢者における薬物治療やゲノム医療については、本学の専門家が講義をすることから、1年目は、講義を実施するが、TV会議システムを活用し、金沢大学や他の地域へも公開する。在宅医療に係る実習については地域病院と共同して実施する。演習・実習科目は金沢大学薬学系が開講する科目の履修を認め、単位互換を可能とする。</p> <p>&lt;単位認定&gt;e-learning各科目の単位認定は、e-learning科目の合格とオンコロジーセミナーの出席により所定の単位を認定する。</p>						
履修科目等	<p>&lt;必修科目&gt;分子腫瘍学特論（1単位）、臨床統計学特論（1単位）、臨床栄養学特論（1単位）、がん治療におけるゲノム医療演習（1単位）、地域包括医療でのがん治療演習（0.5単位）、ライフステージ事例検討演習（0.5単位）</p> <p>&lt;選択科目&gt;腫瘍薬物学特論（1単位）、がん緩和医療学特論（1単位）、臨床疫学（2単位）、最先端医療（2単位）、AYA世代診療（2単位）、腫瘍学（2単位）、がんゲノム学特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、老年医療学特論（1単位）、がんライフステージ演習（1単位）、腫瘍放射線医学特論（1単位）、腫瘍病理学特論（1単位）、分子生物学入門（1単位）</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	講義科目は、e-learningにより受講。本プログラムから開始されるがん治療におけるゲノム医療の講義については、平成30年度は講義を実施し、平成31年度以降はe-learningに移行する。演習、実習科目は、金沢大学と共同で開催する。金沢大学附属病院での実施分も単位認定を行い、地域連携をする。						
指導体制	富山大学大学院医学薬学教育部薬学専攻の統括は、医学薬学研究部・薬物治療学研究室 新田淳美教授が担当する。さらに、地域医療における薬剤師職に係る実習のために、同医療薬学研究室 藤秀人教授が実習の計画に参画する。また、がん治療へのゲノム医療に係る講義については、同がん細胞生物学 櫻井宏明教授が担当する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	日本医療薬学会が認定するがん専門・指導薬剤師や日本緩和医療薬学会が認定する緩和薬物療法認定薬剤師の資格を取得する。受講者の所属している医療提供機関によって異なるが、急性期病院に勤務する者は、がん化学療法を含むチーム医療に貢献し、ゲノム医療を含めた先進的な化学療法に従事し、臨床研究への参画を期待している。慢性期病院や薬局に所属する者は、緩和医療や終末期医療をはじめ、がん患者へのケアを地域で牽引するようになる。実務実習指導薬剤師となり、次世代の人材養成にも貢献する。						
受入開始時期	平成30年4月以降随時						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	病院・薬局薬剤師及び薬系大学教員	1	2	2	2	2	9
	計	1	2	2	2	2	9



## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	富山大学大学院医学薬学教育部（博士前期課程） 医学領域看護学専攻成人看護学分野						
教育プログラム・コース名	在宅がん緩和リハビリテーションコース（インテンシブ）						
対象者	看護師						
修業年限（期間）	1年						
養成すべき人材像	がん患者のQOLの向上を目指して、小児、AYA世代、壮年、高齢者といった各ライフステージの個人、家族、及び集団に対して、総合的な判断能力と問題解決力さらに倫理に関する解決能力を養い、全人的緩和医療が行える看護師。						
修了要件・履修方法	<p>&lt;修了要件&gt;必修科目：在宅がん緩和リハビリテーション事例演習（1単位）、 「公開講座」又は「実技演習」（1単位）、選択科目の中から1科目（1単位） 以上の合計3単位以上修得。</p> <p>&lt;履修方法&gt;</p> <p><b>【必修科目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅がん緩和リハビリテーション事例演習（1単位）：北信4県におけるTV会議システムを利用したがんライフステージ事例検討会や富山がん事例検討会に5回以上参加により単位認定。</li> <li>・「公開講座」又は「実技演習」（1単位）：富山大学にて開催される、公開講座あるいは、実技演習に1回以上参加することにより単位認定</li> </ul> <p><b>【選択科目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・e-learning「がん緩和医療学特論」「腫瘍薬物学特論」「腫瘍放射線医学特論」「分子腫瘍学特論」「臨床栄養学特論」「分子生物学入門」「在宅緩和医療特論」「がん患者看護論」「コンサルテーション論」より1単位以上修得。</li> </ul> <p>&lt;単位認定&gt;e-learning各科目の単位認定は、e-learning科目の合格とオンコロジーセミナーの出席により所定の単位を認定する。</p>						
履修科目等	<p>&lt;必修科目&gt;在宅がん緩和リハビリテーション事例演習（1単位）、「公開講座」又は「実技演習」（1単位）</p> <p>&lt;選択科目&gt;e-learning「がん緩和医療学特論」「腫瘍薬物学特論」「腫瘍放射線医学特論」「分子腫瘍学特論」「臨床栄養学特論」「分子生物学入門」「在宅緩和医療特論」「がん患者看護論」「コンサルテーション論」より1単位以上修得。</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	北信4県におけるTV会議システムを利用したがんライフステージ事例検討会や富山がん事例検討会にて、緩和ケア・がんリハビリ、在宅療法、化学療法中患者等の困難事例について意見交換を行うとともに、e-learning科目・演習を通して、在宅医療における患者・家族のQOL向上・症状コントロールを図るための知識・技術を得る点に特色がある。						
指導体制	北信4県のがん看護専門看護師を中心に、医師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、ソーシャルワーカーなどそれぞれの立場から意見交換や講義演習を実施する。 講義科目は、e-learningにより受講する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コース修了者にはNPOがんプロフェッショナル認定機構より、「在宅がん緩和リハビリテーション・スペシャリスト」（仮）の認定証を授与する。						
受入開始時期	平成30年4月以降随時						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	看護師	/	1	2	2	2	7
	計	0	1	2	2	2	7

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	福井大学大学院医学系研究科統合先進医学専攻						
教育プログラム・コース名	地域がん専門医養成コース						
対象者	医学系研究科統合先進医学専攻大学院学生						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	がん医療に携わる専門的な知識及び技能に加えて、臨床研究に卓越した医師やその他の医療従事者の養成、本学の特色を活かした緩和ケアや在宅医療にも精通する。						
修了要件・履修方法	<p>&lt;修了要件&gt;がんプロフェッショナル授業科目の必須科目5単位を含む10単位以上を取得すること。がんに関する研究論文が学位審査に合格すること。</p> <p>&lt;履修方法&gt;e-learning教材、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。（e-Learning科目の単位認定は、e-Learning科目+オンコロジーセミナー（演習）出席にて、1単位とする。）</p>						
履修科目等	<p>&lt;必修科目&gt;分子生物学入門（1単位）、分子腫瘍学特論（1単位）、臨床栄養学特論（1単位）、臨床統計学特論（1単位）、臨床統計学演習（1単位）</p> <p>&lt;選択科目&gt;がん緩和医療学特論（1単位）、腫瘍薬物学特論（1単位）、腫瘍放射線医学特論（1単位）、がん患者看護論（1単位）、がん患者看護論Ⅱ（1単位）、がん外科学特論（1単位）、腫瘍病理学特論（1単位）、臨床腫瘍学特論（1単位）、腫瘍病理学演習（1単位）、医学物理学特論（1単位）、コンサルテーション論（1単位）、がんゲノム学特論（1単位）、小児・AYA・希少がん特論（1単位）、がんライフステージ演習（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、老年医療学特論（1単位）</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	本学大学院の統合先進医学専攻 先端応用医学コース 腫瘍医学部門の科目に加え北信がんプロ養成プログラムの科目を履修することにより、地域におけるがん診療力の高度な知識を修得できる。						
指導体制	福井大学腫瘍病態治療学講座及び福井大学の教職員が対応する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	研修の修了者は、医師では施設の緩和ケアチーム医師、緩和ケア病棟医師、地域緩和ケアチームのリーダーとしての活躍が期待できる。また、日本緩和医療学会の専門医を目指す為の教育を提供できる。医師以外のスタッフでは、地域緩和ケアチームのスタッフとして期待される。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	大学院学生	/	2	2	2	2	8
	計	0	2	2	2	2	8

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	福井大学医学部						
教育プログラム・コース名	在宅栄養管理コース（インテンシブ）						
対象者	一般医師、歯科医師、後期研修医、在宅医療に関わる看護師、薬剤師、管理栄養士、言語聴覚士、理学療法士、運動療法士、その他の医療スタッフ						
修業年限（期間）	1年						
養成すべき人材像	栄養学は全ての医療の基本であり、在宅医療にあっても欠かせない医療技術である。終末期がん患者や、脳血管障害その他の慢性疾患で在宅医療を行う場合にも地域の医療資源として在宅栄養管理を安全かつ有効に行うことができる医療者を養成する必要がある。在宅医療においても、経口摂取の維持、経管栄養、静脈栄養など患者の状態に最も適した栄養法を安全に行う事が求められる。そのためには在宅栄養パスの効率的な利用も必要である。日本静脈経腸栄養学会認定教育施設における、NST専門療法師資格取得のための20時間以上の研修は、NST専門療法師資格取得にも繋がる。						
修了要件・履修方法	<p>&lt;修了要件&gt;必修科目（e-learning）3単位の修得。かつ、がんプロが実施するオンコロジーセミナーに2回以上参加または、指定する研修等へ参加すること。</p> <p>&lt;履修方法&gt;e-learning教材、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。</p>						
履修科目等	<p>&lt;必修科目&gt;在宅栄養特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、臨床栄養学特論（1単位）</p> <p>&lt;選択科目&gt;以下のいずれかを演習として履修する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんプロが実施するオンコロジーセミナー2回以上の参加</li> <li>・日本静脈経腸栄養学会認定教育施設にて20時間以上の研修</li> <li>・（医師）日本静脈経腸栄養学会の開催するTNT研修会または医師セミナーを受講。</li> <li>・（医師以外のスタッフ）日本静脈経腸栄養学会の開催するNST専門療法師セミナー受講。</li> </ul>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	在宅緩和医療を推進する上で最も重要な技術は栄養管理である。全ての慢性疾患で在宅医療での栄養指標を高く維持するためには一定以上の技術の習得を要する。拠点病院と在宅のスタッフが同じ教育を受けることで、在宅栄養管理パスが機能し、シームレスな在宅移行が可能となる。また、地域の各職種の栄養管理技術がレベルアップすることで、安全かつ満足度の高い在宅医療が実現できる。						
指導体制	福井大学医学部附属病院をはじめ、各大学病院の栄養サポートチームが中心となる。日本静脈経腸栄養学会認定教育施設の研修サポートを受ける事ができる。日本静脈経腸栄養学会北陸支部会、TNT委員会もサポートする。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	コース修了者は、医師ではNSTのチェアマン、地域NSTの指導者として期待される。医師以外のスタッフは、日本静脈経腸栄養学会認定NST専門療法師資格の取得をめざすことができる。						
受入開始時期	平成29年10月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	医師	/	2	2	2	2	8
	医師以外	/	10	20	20	20	70
	計	0	12	22	22	22	78



## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	福井大学医学部						
教育プログラム・コース名	在宅緩和医療コース（インテンシブ）						
対象者	一般医師、歯科医師、後期研修医、在宅医療に関わる看護師、薬剤師、管理栄養士、言語聴覚士、理学療法士、運動療法士、その他の医療スタッフ						
修業年限（期間）	1年						
養成すべき人材像	緩和は全ての医療の目的であり、特に在宅医療にあっても欠かせない医療技術である。終末期がん患者や慢性疾患の終末期を在宅で療養する場合にも地域の医療資源として緩和医療を安全かつ有効に行うことができる医療者を養成する。在宅医、訪問看護師、訪問薬剤師又は地域の調剤薬剤師、その他地域の医療者が対象となる。						
修了要件・履修方法	<p>&lt;修了要件&gt;必修科目（e-learning）3単位の修得。かつ、がんプロが実施するオンコロジーセミナーに2回以上参加または国の定める緩和ケア研修会を受講すること。</p> <p>&lt;履修方法&gt;e-learning教材、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。</p>						
履修科目等	<p>&lt;必修科目&gt;がん緩和医療特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、臨床栄養学特論（1単位）</p> <p>&lt;選択科目&gt;以下のいずれかを演習として履修する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんプロが実施するオンコロジーセミナー2回以上の参加</li> <li>・国の定める緩和ケア研修会の受講。</li> </ul>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	北陸地域で用いられている在宅緩和医療パスを用いて、病院から在宅へのシームレスな連携を行うための医療者を養成する。在宅栄養にも重点をおく。						
指導体制	大学緩和ケアチームと緩和医療学会専門医、認定医、暫定指導医が中心に教育を行う。緩和医療学会緩和ケア研修会が研修をサポートする。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	コース修了者は、医師では施設の緩和ケアチーム医師、緩和ケア病棟医師、地域緩和ケアチームのリーダーとしての活躍が期待できる。また、日本緩和医療学会の専門医を目指す為の教育を提供できる。医師以外のスタッフでは、地域緩和ケアチームのスタッフとして期待される。						
受入開始時期	平成29年10月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	医師	/	4	4	4	4	16
	医師以外のスタッフ	/	20	20	20	20	80
	計	0	24	24	24	24	96

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢医科大学大学院医学研究科生命医科学専攻						
教育プログラム・コース名	がんプロフェッショナルがん専門医リーダー養成コース						
対象者	医学研究科生命医科学専攻大学院学生						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	希少がんを含むがん患者を臓器横断的に診療できる専門家の養成を目指し、がん患者の思いに寄り添い、最新のエビデンスと情報を集めると同時に、患者・家族の希望を叶えられるように努力できる、がん専門医師を養成する。						
修了要件・履修方法	<p>&lt;修了要件&gt;博士課程に4年以上在学し、所定の単位数（30単位）以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査に合格することで博士（医学）を授与する。専門医養成コースの授業科目のうち必修科目10単位を含む13単位を修得をもって大学院修了単位の11単位に読み替えし、独自に設立されるNPO法人の認定医の申請資格を授与する。</p> <p>&lt;履修方法&gt;e-learning教材、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。</p>						
履修科目等	<p>主として専攻する科目の講義・演習・実験実習（各4単位、計12単位）、特別研究（6単位）、医の倫理または生命倫理学（各1単位）のほか、以下に掲げる専門医養成コースの授業科目13単位以上</p> <p>&lt;必修科目&gt;がんゲノム医療学特論（1単位）、小児・AYA世代・希少がん特論（1単位）、ライフステージに応じたがん医療特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、腫瘍薬物学特論（1単位）、腫瘍放射線医学特論（1単位）、がん緩和医療学特論（1単位）、腫瘍病理学特論（1単位）、臨床腫瘍学特論（1単位）、がん外科学特論（1単位）</p> <p>&lt;選択科目&gt;分子腫瘍学特論（1単位）、臨床統計学特論（1単位）、臨床栄養学特論（1単位）、臨床統計学演習（1単位）、分子生物学入門（1単位）、がんライフステージ演習（1単位）ほか6科目</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	金沢医科大学病院再生医療センターにおける希少がん等対象の免疫療法・再生医療、集学的医療部遺伝子医療センターにおける遺伝カウンセリングにおける独自の教育内容を有する。また金沢医科大大学院医学研究科腫瘍内科学/金沢医科大学病院腫瘍内科では肉腫・神経内分泌腫瘍・原発不明癌などの臓器横断的分野の診療・教育・研究を行っている。						
指導体制	腫瘍内科学：元雄 良治、安本和生、再生医療学：下平 滋隆、先進呼吸器外科学：浦本 秀隆、消化器外科治療学：小坂 健夫、遺伝子医療センター：新井田 要、をはじめとする本施設の教育スタッフが指導を行う。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本教育コースの修了者は、各専門分野の専門医・認定医等の資格を取得し、その後は地域を問わず広く教育職・研究職・第一線の診療医として活躍できる。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	医師	/	2	2	2	2	8
	計	0	2	2	2	2	8

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢医科大学大学院医学研究科生命医科学専攻						
教育プログラム・コース名	がん集学的治療医養成コース（インテンシブ）						
対象者	地域でがん診療に携わる医師						
修業年限（期間）	1年（延長可）						
養成すべき人材像	富山県西部能登南部連合地域および能登北部地区を重点にがん診療に携わる医師を対象として、希少がんや小児がんを含む様々ながんの集学的治療などに造詣の深い医師を養成する。						
修了要件・履修方法	<p>&lt;修了要件&gt;北信がんプロフェッショナル授業科目3単位以上の修得及び北信オンコロジーセミナーへの出席又は多職種連携セミナーへの参加。</p> <p>&lt;履修方法&gt;全国規模のe-learning教材及び本事業が開催するがんゲノムシンポジウムにおける講義教材を利用して自己学習を行うのみならず、TV会議システムを利用した北信オンコロジーセミナー又は多職種連携セミナーへの参加による学修を行う。</p>						
履修科目等	<選択科目>がんゲノム医療特論（1単位）、小児・AYA世代・希少がん特論（1単位）、ライフステージに応じたがん医療特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、北信オンコロジーセミナー（1単位）、がんライフステージ演習（1単位）						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	当施設が実地医療を担当している地域のがん診療に携わる医師を対象として、希少がんや小児がんを含む様々ながんの集学的治療の教育機会を提供する点に新規性がある。						
指導体制	大学及び連携機関に所属するがん集学的治療のエキスパートであるスタッフが、様々ながん種に対する集学的治療を行うために必要なスキルをe-learning又はシンポジウムで講義する（e-learningやシンポジウム参加、TV会議で受講）。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コースで養成された医師は、多職種と連携できるがん集学的治療のリーダーとして、地域基幹病院におけるがん医療に貢献する。						
受入開始時期	平成29年10月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	地域医療機関の医師	1	2	2	2	2	9
	計	1	2	2	2	2	9

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	石川県立看護大学大学院看護学研究科（博士前期課程） 看護学専攻実践看護学領域成人看護学分野						
教育プログラム・コース名	がんライフステージコース						
対象者	がん看護専門看護師コース大学院学生						
修業年限（期間）	2年						
養成すべき人材像	がん患者のQOLの向上を目的として、小児、AYA世代、壮年、高齢者といった各ライフステージにおける痛みに関する知識・技術を駆使して、対象の治療・療養・生活過程の全般を統合・管理し、卓越した看護ケアを提供できる看護師。さらに、総合的な判断能力と組織的な問題解決力を持ち、専門領域における新しい課題に挑戦し、現場のみならず、教育や政策の課題にも反映できる開発的役割がとれる変革推進者として機能できる看護師。						
修了要件・履修方法	共通科目と各専門看護分野の専門科目から38単位の他に「がんライフステージ演習」を履修すること。「がんライフステージ演習」は、各大学のTV会議システムからの参加でも可能とする。						
履修科目等	<必修科目>看護科学論（2単位）、看護研究（2単位）、フィジカルアセスメント（2単位）、病態生理学（2単位）、臨床薬理学（2単位）、特別研究（6単位）、成人看護学特論（2単位）、がん看護援助論（2単位）、がん病態治療学特論（2単位）、緩和ケア演習Ⅰ（2単位）、がん看護学演習Ⅰ（2単位）、ほか6科目 <選択科目> コンサルテーション論（2単位）、ケアと哲学（2単位）、がんゲノム学特論（1単位）、小児・AYA世代・希少がん特論（1単位）、住宅緩和ケア特論（1単位）、老年医療学特論（1単位）、がんライフステージ演習（1単位）						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	本コースでの「がんライフステージ演習」は、テレビ会議システム等を活用し、がん看護専門看護師養成コースを有する大学（石川県立看護大学、富山大学、福井大学）が提携し、単位互換を可能とする。従来の教育とは異なり、各大学の教授陣の専門を学ぶことが出来る。講師として、がん看護、小児看護、老年看護、リエゾン看護の専門看護師を採用することで、それぞれの専門性の視点から、各ライフステージにおけるがん看護について理解を深めることができる。						
指導体制	北信越におけるがん看護専門看護師、小児看護専門看護師、老人看護専門看護師、精神看護専門看護師を講師に迎え、講義や演習を通してライフステージにおけるがん看護の特徴と支援の在り方を教授する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コース修了には北信がんプロNPO機構より「がんライフステージ・スペシャリスト」（仮）の認定を授与する。また、本コース修了生は、北信がんプロのインテンシブコース等で講義、演習を行い、さらに自身のキャリアアップを行う。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	看護師	/	2	2	2	2	8
	計	0	2	2	2	2	8

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	石川県立看護大学大学院看護学研究科（博士前期課程） 看護学専攻実践看護学領域成人看護学分野						
教育プログラム・コース名	がんライフケアコース（インテンシブ）						
対象者	看護師、薬剤師、医師、理学・作業療法士、ソーシャルワーカー等						
修業年限（期間）	6月～1年						
養成すべき人材像	これまでのがん看護経験又はすでに取得している専門看護師が、がん看護、小児看護、老年看護のそれぞれの専門性を活かし、全人的痛みに関する事例やミニレクチャーを通して、小児、AYA世代、壮年、高齢者といった各ライフステージにおける全人的痛みに関する生活過程の全般を統合・管理し、卓越した看護ケアを提供できる看護師を養成する。						
修了要件・履修方法	＜修了要件＞がんライフステージ演習1単位以上の修得及び公開講演への参加。 ＜履修方法＞TV会議によるセミナー、演習等で履修する。						
履修科目等	＜必修科目＞がんライフステージ演習（1単位）、公開講演への参加。						
教育内容の特色等 （新規性・独創性等）	北陸3県においてTV会議システムやWeb会議システムを利用して、各専門看護師や薬剤師、医師で、緩和ケア、がんリハビリ、化学療法中の患者への疼痛ケア事例について意見を交換をおこない、各対象に応じた緩和ケアの知識・技術を得ることができる。						
指導体制	北陸3県のがん看護専門看護師と薬学部の学生、薬剤師を中心に、小児専門看護師、老人看護専門看護師、薬剤師、医師、理学療法士がそれぞれの専門的立場からテレビ会議システムを通して、事例検討する。それぞれの専門を互いに共有することで、小児、AYA世代、老年期の特徴を理解すると共に患者の全人的理解とそのケアについて検討していく。がん患者の会などとも連携を取り、事例検討のうち1-2回は、患者会にも参加していただく。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コース修了者は、地域基幹病院のみならず、僻地におけるがん医療に貢献する。また、この経験を生かし、看護師、学部生（看護、薬学、医学）への関わりの中で、次世代のがん医療従事者の育成に関わる。						
受入開始時期	平成29年10月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	看護師	1	3	3	3	3	13
	看護師以外の多職種	1	2	2	2	2	9
	計	2	5	5	5	5	22



管理者印	金沢大学 事務局確認印	受付担当印

文部科学省・先進的医療イノベーション人材養成事業  
超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）

## 履修申請書

平成 年 月 日

『超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成』コースの履修を希望しますので  
次のとおり申請いたします。（※裏面もご記入ください）

申請する 教育コース (※申込されるコース の数字を○で囲んで ください。)	本 科 コ ー ス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 先端的個別化医療コース/金沢大学</li> <li>2 がん個別化薬物療法薬剤師リーダーコース/金沢大学</li> <li>3 個別化高度化を担う医療技術・医学物理人材育成コース/金沢大学</li> <li>4 ゲノム医療に精通したがん治療医育成コース/信州大学</li> <li>5 がん診療に詳しい認定遺伝カウンセラー養成コース/信州大学</li> <li>6 高齢がん患者対策専門コース/富山大学</li> <li>7 高齢化した地域医療を個別化医療で支えることができる高度薬剤師養成コース /富山大学</li> <li>8 地域がん専門医養成コース/福井大学</li> <li>9 がんプロフェSSIONALがん専門医リーダー養成コース/金沢医科大学</li> <li>10 がんライフステージコース/石川県立看護大学</li> </ol>
	イン テン シ ブ コ ー ス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 がんゲノム医療生涯教育コース/金沢大学</li> <li>2 がん個別化薬物療法実践薬剤師コース/金沢大学</li> <li>3 高齢がん患者対策専門コース/富山大学</li> <li>4 高齢化した地域医療を個別化医療で支えることができる専門的薬剤師養成コース /富山大学</li> <li>5 在宅がん緩和リハビリテーションコース/富山大学</li> <li>6 在宅栄養管理コース/福井大学</li> <li>7 在宅緩和医療コース/福井大学</li> <li>8 がん集学的治療医養成コース/金沢医科大学</li> <li>9 がんライフケアコース/石川県立看護大学</li> </ol>
(ふりがな) 氏 名 ・ 印	④	
生年月日 年齢・性別	昭和 ・ 平成 年 月 日生 ( 才 男 / 女 )	
現住所	(〒 - )	
電話番号 電子メール	<p style="text-align: center;">— —</p> <p>[PC] @</p> <p>[携帯] @</p>	



学歴 (大学卒業以降)	<<記入例>> 平成25年3月 ○○大学 医学部医学科 <input checked="" type="checkbox"/> 卒業	
	年 月	<input type="checkbox"/> 卒業 <input type="checkbox"/> 卒業見込み
	年 月	<input type="checkbox"/> 卒業 <input type="checkbox"/> 卒業見込み
現在の勤務先情報	勤務先名	
	所属部署	職名
	住所 (〒            —            )	
	TEL                   —                   —	
医師免許	昭和 ・ 平成            年    月    日    医籍登録：第            号	
資格 ＊指定医・専門医等 (登録番号を含む)		
職歴 ＊期間・勤務先・ 職種等	<<記入例>> 平成25年4月1日～ 現在 ○○大学附属病院 研修医	
	年 月 ～ 年 月	
	年 月 ～ 年 月	
業績 (公表論文・研究 報告)		

[申請書作成要領]

1. 所定の様式で作成すること。(複数頁にわたっても結構です。)
2. 氏名は戸籍に記載された字体により記入すること。
3. 該当する口欄にチェックを付けてください。
4. FAX (265-2855)、e-mail (gpro@med.kanazawa-u.ac.jp)  
 または郵送にてがんプロ事務局 (金沢市宝町 13-1)  
 まで、ご提出ください。

〈各大学事務担当〉



金沢大学  
医薬保健系事務部 学生課大学院係 (北信がんプロ事務局)

〒920-8640 石川県金沢市宝町13番1号  
e-mail : gpro@med.kanazawa-u.ac.jp



信州大学  
医学部学務・臨床研修グループ

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1  
e-mail : mgaku\_gp@shinshu-u.ac.jp



富山大学  
医薬系学務課

〒930-0194 富山県富山市杉谷2630番地  
e-mail : mpin@adm.u-toyama.ac.jp



福井大学  
医学部腫瘍病態治療学講座

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23番3号  
e-mail : gpro-fukui@ml.u-fukui.ac.jp



金沢医科大学  
教学課 (大学院医学研究科)

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1丁目1番地  
e-mail : d-gakuin@kanazawa-med.ac.jp



石川県立看護大学  
教務学生課

〒929-1210 石川県かほく市学園台1丁目1番地  
e-mail : office@ishikawa-nu.ac.jp

